

第06回

- 講演者：土岡 俊介 氏 (IPMU(東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構))
 - 題目：対称群のモジュラー表現論の最近の進展について
 - 日時：平成25年6月27日（木）16：30～17：30

2007年から2008年の間に、RouquierとBrundan-Kleshchevによって、正標数の対称群の群代数には、非自明な次数付き代数の構造が入ることが示された。前半でその背景や意義を解説し、後半でその射影表現類似に関する柏原正樹氏とSeok-jin Kang氏との共同研究について解説する。

[<6>]

From:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/rs/> - (旧)理工学部 数学科

Permanent link:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/rs/seminar/2013/006>

Last update: **2017/11/16 18:50**

